



<展覧会 開催のお知らせ>

この度、UNPEL GALLERY（アンペルギャラリー）に於いて「森田 舞（もりた まい） 個展」を開催いたします。

昨年 12 月、東京 日本橋にオープンいたしました「UNPEL GALLERY」では、運営母体である「あいおいニッセイ同和損保」のメセナ活動の一環として本年 2 月から 5 月までの間、全国の大学、美術大学で日本画を学ぶ学生の展覧会を開催いたしました。この活動は、さらなる「文化芸術振興」を目指し、また地方大学の卒業作品展示や各地域と連動した企画の実施により「地方創生」を推進するギャラリー開設の主旨によるものです。

今回は、日本画を志す若手画家の育成と日本の伝統を継承するというメセナ活動の理念に基づいて、質の高い表現・発表の場の提供、及び今後の作家活動の支援として開催されるものです。

■タイトル / 森田 舞 個展 [ground2021]

MORITA Mai Solo Exhibition

■会 期 / 2021 年 5 月 16 日（日）～6 月 6 日（日） 11:00 ～ 19:00（月曜定休）【入場無料】

* 新型コロナ感染拡大の状況により、開廊日や営業時間を変更する可能性があります

ご来廊の前には必ずギャラリーの HP/ <https://unpel.gallery> 及び Twitter/ https://twitter.com/unpel_gallery/ をご確認ください

■会 場 / UNPEL GALLERY

東京都中央区日本橋 3-1-6 あいおいニッセイ同和損保八重洲ビル 1F

■作 家 名 / 森田 舞（もりた まい）

■企 画 / UNPEL GALLERY

■展覧会内容

日本画の技法を用いた作品を制作している森田舞の個展を開催します。

今回の新作個展は、昨年来の新型コロナ禍に直面しながら制作された 6 枚の作品をシリーズ化した大作「ground 2020」を中心に、大小の作品約 14 点を出品。人の意識を形作る認識や記憶は、抽象と具象を常に行き来して輪郭を留めません。しかし、森田は目に見ることの出来ない多くの曖昧な要素の中こそ、生の本質とエネルギーがあると考え、揺れ動く意識の境界と輪郭をテーマに制作を進めてきました。その流動的な線上で何が起きているのか注視することで、点と点を繋ぐように、そこに何ものかの輪郭、即ち生の本質とエネルギーの様相を描こうと試みた彼女の新作を是非ご高覧下さい。

<ご連絡・お問い合わせ先>

■ギャラリーオフィス 11:00～19:00 月曜定休（担当 / 中島・内城）

E-mail / tsubaki@un-pel.com <https://unpel.gallery/>

TEL / 03-3548-7780 FAX / 03-3548-7781

* お問い合わせは E-mail にてお願いします

■作家プロフィール

森田 舞（もりた まい）

1994年 富山県生まれ

2020年 多摩美術大学大学院美術研究科博士前期課程絵画専攻日本画研究領域修了
現在創画会会友

2015年 「第42回創画展」東京都美術館(東京上野)入選['17 '18]

2017年 「第43回東京春季創画展」T-ART GALLERY・TERRATORIA(東京品川)入選['19 '20]

2018年 「第7回Artist Group－風－大作公募展」東京都美術館(東京上野)入賞

2019年 「羅針盤セレクションVOL.1 4人展」アートスペース羅針盤(東京京橋)

「花信風第7回Artist Group－風－小品展」高島屋美術画廊(東京日本橋/大阪/京都)

「グループゆう展」富山市ガラス美術館(富山市)

「GALLERY ART POINT 大賞展-KIZUNA 2019-」GALLERY ART POINT(東京銀座)

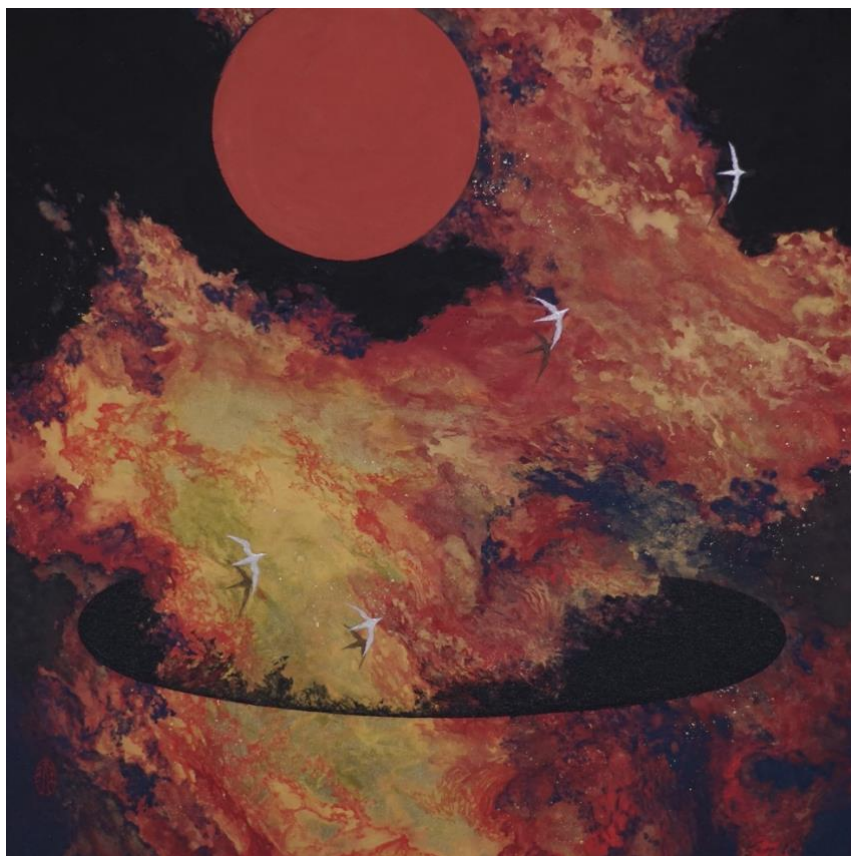
「現代アートとの出会い展Ⅱ」豪農の館内山邸(富山市)

2020年 「ART POINT Selection I」GALLERY ART POINT(東京銀座)

個展「ground2020」アートスペース羅針盤(東京京橋)

都美セレクショングループ展

「東アジア絵画のなかへトランスする日本画の可能性」東京都美術館(東京上野)



「ground2021(標風)」S6号 2021年



「scene 2018 II」 F100 号 木製パネル、岩絵具、顔料、膠 2018 年



「標、然れども道を示さず」 M100 号 2019 年



「ground」 SSM 号 2020 年